



11月社長定例記者会見 概要

11月27日午後3時から、テレビ佐々木社長、ラジオ三村社長、BS相子社長による定例記者会見が、TBS放送センターで行われました。概要は以下の通りです。

<佐々木社長所感・・・年内最後の社長定例会見にあたり>

台風災害など多くの天災に見舞われた年だと感じました。災害報道に懸命であった1年という印象です。亡くなられた方への哀悼の意を申し上げたいと思いますし、今なお不自由な暮らしをしておられる方々へお見舞いを申し上げます。災害はもともと予測できない部分もありますが、それにしても今年は異常気象を思わせるような、そのタイミング、規模は想像を遥かに超えるもので、被害が大きくなったと感じました。災害報道に関しても、大規模な停電が起きたときにはどうするのかなど、多くの教訓が残ったという実感です。同時に、やっぱり我々ラジオ・テレビにとって災害報道は本当に大事だと、改めて肝に銘じているところです。それから、やはりスポーツ中継に強い印象が残りました。我々もマラソンの「MGC」、「世界陸上」、「世界野球プレミア12」などで、視聴者の皆様の熱気を十分に感じ取りましたが、何といてもラグビーブームというのは凄まじかった、日本中が熱狂したと思います。テレビはそういう起爆剤となる、爆発的なブームを起こす力を持っていると、我々テレビの、メディアの力も再認識しました。来年はいよいよオリンピックの年ですから、私達テレビにとっては大いに腕の見せどころであり、民放とNHKで、“ONE TEAM”となってしっかり準備して、立派な放送をお届けしたいと思っているところです。

<編成関連>

2019年度下期、これまでの視聴率は、全日・GP帯が4位、それからノンプライム帯が5位という状況で厳しい成績ですが、試行錯誤を重ねながら番組も、より多くのファミリーを意識して見ていただきたいと、いろいろ体質改善している最中です。辛抱のしどころと思っています。ドラマでは日曜劇場の『グランメゾン東京』は大変多くの方々に支持されており、内容的にも大変面白いと思います。スポーツでは、『世界野球プレミア12』を中継して、侍ジャパンがWBC以来10年ぶりに世界一となった大会を中継できたことは、我々にとっても大変いい結果でした。

<営業関連>

この10月以降、タイムセールスに関しては、堅調と感じていますが、一方でスポットセールスの方は大変厳しい状態で、10月の東京の地区投下率が86.4%、この上期以上に厳しい状況となりました。11月、12月は若干上向き加減になろうかと思いますが、それでも、第3四半期は、前年には届かない見通しで、シェアを拡大するということにより、スポットの目減りを食い止めたいと思っています。(次項へ続く)

<事業関連>

映画では、「かぐや様は告らせたい 天才たちの恋愛頭脳戦」が文句なしの大ヒットで、観客動員数は180万人・興収22億円を超えています。冬休み映画で来月27日に公開されるのが、「劇場版 新幹線変形ロボ シンカリオン 未来からきた神速のアルファエックス」。家族向けで、大変前売りが好調ということで期待しています。イベントでは、「特別展ミイラ～永遠の命を求めて」(国立科学博物館)が大変好評です。世界からミイラ43体を集めており、11/26時点ですでに9万2081人、最終的には40万人を超える見込みです。

<ラジオ関連> TBSラジオ 三村社長

今年は大変台風など自然災害が関東地方にも大きな爪痕を残し、ラジオの社会的責任について改めて思いを強くする1年となりました。事業面においては、ラジオメディアとして広告主の期待に応えるために、ラジオの実態や広告効果を可視化し、広告主とのコミュニケーションを次のステップに進めるべく3つの大きな挑戦を行いました・・・(1)「ラジオ365データ」の公表、(2)「リスナーファインダー」の運用、(3)「スクリーンレスメディアラボ」の設立、である。ラジオに対する広告主の注目も徐々に高まってきたと実感しています。業界のリーディングカンパニーとしても、今後の業績回復に注力してまいります。今月の編成関連の報告としては大きく2点。1つ目はインターネット・スマートフォンで聴くことに特化した、日本初の音声コンテンツ「Audio Movie」音で観る映画の開発。「音声コンテンツを楽しむ生活習慣を醸成し、人の想像力を育み、生活を豊かにすること」を掲げ、これまでのラジオ放送の制作ノウハウとは異なるメソッドを確立して制作を行います。脚本設定や演出効果などの細かなメソッドを「AMC ※Audio Movie Code 特許出願中」として定め、多くの制作者の参入を促し、インターネット上に新たな音声市場を創出したいと思っております。第1弾となるAudio Movieは、今年初め日本でも公開されたデンマーク映画の「THE GUILTY」。2つ目はパラスポーツキャンペーン2019の実施。キャンペーンパーソナリティに篠田麻里子さんを迎え、11/11～17の期間で展開しました。東京都のチームビヨンドの協力を得て、パラスポーツ体験会も実施。TBSラジオとしては、今後もパラスポーツの普及・PRに努めてまいります。事業関連では、来年2月10・11日にパシフィコ横浜で開催する「RADIO EXPO」。木梨憲武さん、クローピーナッツの出演も決定した。券売も好調に推移。横浜市の後援も決まり、中華街をはじめ、地元とのコラボレーションを進め、来場者に様々な体験を提供すべく、鋭意作業を進めています。

<BS関連> BS-TBS 相子社長

今期はここまで、編成・営業ともまずまずの結果を出せております。12月1日は4K開局1周年を迎え、まだ成長段階ですが、視聴可能世帯は着実に伸びており、12月1日4K開局1周年記念日には、BS民放5社をリレーする8時間生放送番組を放送します。トピックスでは、TBSと共に12月2日(月)より、『報道1930』同時配信トライアルをスタートします。TBSが運営する番組配信アプリ「TBS FREE」をプラットフォームとして、「場所」を問わずに視聴者の利便性を考えたサービスを展開してまいります。10月お薦め番組は「氷川きよし20周年記念特番」(12月6日(金)よる9時～)デビュー20年を記念して、自身のヒット曲や原点となった名曲の数々を歌い尽くします。司会は徳光和夫が担当。『令和・歌の祭典2019』(12月7日(土)よる7時～)11月12日(火)に東京国際フォーラムにて開催されたイベントの様子を放送致します。北島三郎、吉幾三など、多くのトップ歌手たちが終結した豪華ステージです。年末年始お薦め番組は、「幸せのホテルが誘う旅～ルレ・エ・シャトーへようこそ」(1月3日

(金)よる 7 時～)3 人の女優が競演する特番。中山美穂はスイス、真木よう子はイタリア、成海璃子はモロッコへと旅たち、プレミアムな旅を体験できるとして、今注目を集めている「ルレ・エ・シャトー」だからこそ体験できる旅を紹介します。4K にて収録してますので、BS-TBS 4Kでは4K映像でお楽しみ頂けます。『町中華で飲ろうぜ ラジオたまむすびコラボSP～福岡・大阪・東京おせちもイイけど町中華もね～』(1月4日(土)よる7時～)月曜よる11時放送中の、玉袋筋太郎ら出演者が、町中華にフラリと訪れる人気急上昇番組が初の特番になります。今回は、TBS ラジオ『たまむすび』ともコラボ。出演仲間である赤江珠緒、博多大吉、外山恵理 TBS アナウンサーと共に、日本の各都市を訪れます。最後に、営業では、11月の放送収入は、対予算比・対前年比ともに、わずかにですが 100%に達しない状態。12月については、レギュラーは堅調で、単発セールスは年末年始セールスが徐々に動き出している状況。12月の放送収入については、この年末年始セールスが大きなポイントとなります。

以上